

2010年(平成22年)3月12日(金曜日)

GAP普及へ研修

京都府と
JA京都中央会
モデル農場で実務学ぶ

GAP(農業生産工程管理)について多様な情報がはびこる中、京都府とJA京都中央会は、農業改良普及員やJA営農指導員が認識と目的を共有して府内のGAPを推進するため、指導者研修会を8、9の両日開いた。

講師にGAP普及センターの田上隆一さんを招き、今、産地で進めるべきGAPの基礎や本来の姿を学び、実際にJGAP(日本版農業生産工程管理)認証取得を目指す京都市伏見区の農業生産法人・こと京都(株)をモデル農場として実務演習を行った。

田上さんは「GAPの本質は、人間の健康と自

然の環境を守り、消費者の信頼を獲得する持続型農業を目指すためのもの」とし、そのために指導者の果たすべき役割や、生産者が取り組むべきことについて講義し

た。また、モデル農場では、資材置き場と出荷調製場で、参加者全員による管理実施状況調査を行った後、リスク評価の結果について、ディスカッションした。



モデル農場でGAPの指導者研修